

ふたみきた

令和2(2020)年12月1日
明石市立二見北小学校
学校だより 第462号



本当の「新しい生活」

校長 赤松 弘一

令和2年も残すところひと月となりました。子どもの頃、この時期には家では餅をついたり、大掃除をしたりという年末の恒例行事がありました。加えて記憶にあるのは、年末の買い出しです。市場や商店がお正月には休みになるので、食べ物、特に子供はおやつを買いだめしていました。普段は手にできないたくさんのお菓子を買って帰ると、「いよいよお正月が来る」という期待が高まりました。最近はお正月も普段と何ら変わりなくコンビニやスーパーが開いているので、お正月の特別感が無くなってきたように感じます。いつでも欲しいものが買える便利な社会ではあるのですが、昭和生まれの私は寂しさを感じます。

便利といえば、今、私がお茶を飲もうと思ったらおそらく5分いや3分以内に飲むことができます。しかし昔はそうではなかったですね。水道やガスや電気のない時代なら、まず井戸で水を汲みます。そして薪と火種を用意して火を起し、それに鉄瓶をかけて湯を沸かします。そうしてようやくお茶を淹れることとなります。さあ何分かかるでしょうね。お茶を飲むというのは、この準備や作業をすべて含んだ活動であり、その作業があるからこそ、お茶もおいしく感じるのだと思います。今の私たちはこの時間を待たなくなっています。

便利さというのは可能な限り時間を省くということに他なりません。そうして生み出した時間で私たちはゆったりと心を休めているでしょうか。生きることを楽しんでいるでしょうか。どうも私たちはいつも忙しく何かに追われて小走りに生きているように感じます。

私の知人のIさんが2004年にアフリカのタンザニアにホームステイしました。その村には電気も水道もガスもありません。朝起きると主人は弓と矢をもって3人ほどで狩りに出かけます。一日中ブッシュや林を歩き回って、ようやく小さなサルを一匹仕留めましたが、家族のために持ち帰るには小さすぎたので、その場で火を起こして焼いて少ない肉をみんなで分けて食べたそうです。一緒についていったIさんにも分けてくれたそうです。滞在したその家(日干しレンガを泥で固めて作った家です)には本当に何も物が無く、便利とは程遠い暮らしですが、みんなのんびりしているそうです。たくさん物を持たなくても、周りの自然にある物を知恵で道具に変えたり、手に入れた物を分けあったりして明るく暮らしています。知人は、「その人たちが毎日やっていることのすべては、生きることそのものなんだ」と感じたそうです。

撮影 T・I



私たちはそのような暮らしにもどることはできそうもありません。物に囲まれた便利な生活は楽です。それに浸っていると便利であることさえ忘れて、もっと便利な物はないかと探し始めます。そしてその便利さを手に入れてさらに楽に暮らすために、いつも小走りで何時間も休まず働き続け、時には体を壊したり、心を病んでしまったりします。

私の持っている物の中で、あの主人の弓矢と同じぐらい大切なものは何でしょうか。家の中を埋め尽くしそうなたくさん物たちは本当に必要なのでしょうか。

今年一段と進んだ地球温暖化は、アフリカで質素に暮らす人々にも否応なくその影響を及ぼすでしょう。しかし私はその原因である便利な暮らしに相変わらず浸ったままです。

コロナ禍を経験した後の「新しい生活」とはどうあるべきか考えたいと思います。

今月の予定

日	曜	
2	水	朝会
3	木	きらきらの会(1年)
8	火	Fタイム(サークル) きらきらの会(2年)
9	水	きらきらの会(3年・わかば)
10	木	きらきらの会(5年)
14	月	教育相談日
15	火	子ども安全の日 代表委員会 きらきらの会(4年)
16	水	きらきらの会(6年)
18	金	スクールカウンセラー来校日 スーパーサイエンススペシャリスト〈プログラミング教育①〉(6年)
22	火	2学期給食最終日
23	水	給食室探検(1年)
24	木	終業式 短縮4時間
25	金	冬季休業日(1月6日まで)
1月の 主な 行事予定		7日:始業式 一斉下校 短縮4時間 8日:席書会 11日:成人の日 12日:Fタイム(サークル) 給食開始日 13日:月曜時間割 14日:情報モラル講習(9:30~12:25) 15日:子ども安全の日 18日:地震・防災学習 19日:代表委員会 25日:教育相談日 26日:Fタイム(クラブ) クラブ見学(3年) 29日:スクールカウンセラー来校日

**二見北小学校50周年記念
ロゴマークとキャッチフレーズ決定!**

【ロゴマーク】

【キャッチフレーズ】

二見北小50年 つなげ未来へ!

応募作品が、ロゴマークは61個、キャッチフレーズは44個も集まりました。たくさんのお応募をありがとうございました。どれも二見北愛にあふれていました。50周年実行委員会や教職員等で審査した結果、これらの作品が選ばれました。これから50周年を盛り上げていきましょう。

♪♪ 6年生音楽発表会

私は、今年の音楽発表会でバスアコーディオンを担当しました。決まった時は本当にできるか不安で胸がいっぱいで、特に楽譜を覚えるのが難しく苦労しました。しかし、繰り返し練習することで、本番では一度もまちがえることなく演奏できました。また、終わりの言葉も担当していたので、言葉を覚えることにも苦労しました。友達に聞いてもらったり動きを確認する練習をしたりすることで自信を持って本番を迎えました。全力で取り組み、努力が実ったことを感じました。 6-1

音楽発表会で、ぼくはアコーディオンを担当しました。これまで、特別楽器を担当してこなかったのですが「やるしかない。」と思いました。でも、いざ練習が始まると、指遣いは上手にできたけど、音あまり出せず迫力ある演奏ができませんでした。そんな時に先生から、全身を使って演奏したらいいよとアドバイスをもらい、6年生らしい演奏となりました。難しいことに挑戦して成功できたからこそ良い思い出になりました。これからもいろいろな経験から学んでいきたいです。 6-1

私は、小太鼓やアコーディオンを演奏しました。その中で特に頑張ったのは、小太鼓です。実行委員になったので忙しくて休み時間もずっと練習しました。4拍子のリズムを家でも練習しました。井場先生の指揮からずれたり音の強弱がつけられなかったりして難しかったです。でも11月に入ると、どんどんリズムが合ってきて、通し練習の時には、ヤングマンは他の曲よりも自分的には良かったと思います。慣れるのに時間がかかったけれど堂々とやり切ったので、大人になってもこの経験を忘れずにやっていきたいです。この学校、この学年、このクラスで本当に良かったです。このまま楽しく卒業したいです。 6-2

今回の音楽発表会は、コロナウィルスの影響で楽器が少なくなったけど、表現する方法を考え迫力を出せるように頑張りました。その中でもボディパーカッションに力を入れました。チームを編成し、色々なダンスやリズムを作るときは、「どうしようか。」と悩み、とても大変でした。でも、諦めずにかっこいい振り付けを考え、良い動きが作れました。できたときは、とても嬉しかったです。最後に大きな拍手をもらったとき、「練習の成果が発揮できてよかった！後悔なし！」と心の中で思いました。小学校生活の思い出として心に残りました。音楽発表会ができて本当に良かったです。 6-2

5年生 ネイチャーウィーク

この5日間で、私は印象に残ったことが2つあります。1つ目は六甲山牧場です。様々な色や模様の羊がいました。他にも、うさぎ・牛・馬・ヤギがいて、自然の動物とふれ合うよい機会になりました。2つ目はピザ作りです。生地を作ったり焼いたりすることはとても大変だと感じました。この5日間は、私やみんなも成長できたと思うので、これからも成長できるようにがんばりたいです。 5-1

ぼくは船リンサークルという実行委員を担当しました。「船ケットボール(バスケットボール大会)」に向けて、準備や練習を重ねてきました。本番では、その成果を出すことができたので良かったです。プレミアムネイチャーウィークで終わりにせず、これからの生活に生かしていきたいと思います。 5-1

私は、この5日間でがんばったことがあります。それは、忍耐・挑戦・全力です。この3つを達成するためにがんばりました。そして、5日目に達成することができました。このプレミアムネイチャーウィークでがんばったことを、これからの学校生活と毎日の生活に生かしていきたいと思っています。 5-2

ぼくは、この5日間の様々な体験をしていなければ、変わらず成長していなかったと思います。今までできなかった5分前行動ができるようになったし、「忍耐・挑戦・全力」の3つの目標がだんだんと達成できてきたから、5日間があって、本当に良かったなと思いました。これからも、この経験を忘れること無く、普段の生活にも生かせるように努力したいです。 5-2

僕がこの5日間で頑張ったことは、2つあります。1つ目は班長です。はじめは、班長になってまとめることができるのか不安でした。でも、これまでの経験を思い出して全力で取り組むことができました。2つ目は百人一首の実行委員です。あまり自信がなかったけれど、成功したので嬉しかったです。ネイチャーウィークでできるようになったことをこれからも続けていきたいです。 5-3

私は、5日間をふりかえって成長したことがありました。最初の方は、時間を守れなかったけど、3日目くらいからはよゆうをもって行動することができるようになりました。「忍耐・挑戦・全力」の3つの目標も達成できました。これからもこの経験を活かしていきたいです。そのためにもみんなと協力、助け合いをしながら学校生活を送りたいです。 5-3